JAM・P愛知
スローガン
どえりゃ～元気！
JAM・P愛知

JAM愛知青年協議会

Vol. 47
2019年10月9日（水）
JAM・P愛知 機関紙

SEARCH JAM東海

☆JAM・P愛知とはJAM東海(愛知)に集まる
次世代の労働組合を担う青年男女組合員育成を目的とした協議会の名称です。

リフレッシュスクール報告

2019年9月6日（金）～7日（土）に、リフレッシュスクールが開催されました。今回のリフレッシュスクールでは『東海地方のモノづくり・文化』に触れるという事で、郡上市にあるサンプルビレッジいわさきにて食品サンプルづくり体験、郡上八幡旧庁舎記念館にて郡上踊り体験を行いました。

食品サンプルづくり体験では天ぷらとレタスのサンプルを講師の方々に教わりながら作成しました。ただ手順を説明して頂いただけではなく、扱っているろうの温度や正しい手順でないとどういう理由で失敗するのかなども教えて頂きました。参加者の多くは普段からモノ作りに関わっているという事もあり、その説明をしっかりと聞いて作成し、講師の方からはみんな上手くできているという評価を頂きました。

郡上踊りとは、郡上市八幡町で開催される伝統的な盆踊りであり、400年にわたって城下町で歌い踊り続けられてきたもので、江戸時代に城主が士農工商の融和を図るために、藩内の村々で踊られていた盆踊りを城下町に集めたのが始まりだそうです。そんな歴史背景から郡上踊りは誰もがひとつ輪になって踊る楽しさがあり、「見る踊り」ではなく「踊る踊り」と言われています。今回の郡上踊り体験では10曲ある内の2曲を教わり、最後はみんなで輪になって踊ることができました。まだ少し恥ずかしさも残っている様子でしたが、より打ち解けるきっかけになったと感じています。体験当日が踊り納めの日でしたので、今回の体験が来年みなさんで参加するきっかけになればと思います。

また、高山市にある清見里人学校に宿泊させていただき、ソフトバレー大会、バーベキューなどを行いました。

この2日間でモノづくり・文化に触れることができ、また体を動かして心身のリフレッシュを図るとともに参加者同士の交流を深める事が出来ました。今後もこのような心身のリフレッシュ及び参加者の交流に繋がる企画を開催いたしますのでご参加を心よりお待ちしております！

サンプル作り体験の様子

郡上踊り体験の様子

清見里人学校にて集合写真

報告者：リフレッシュスクール担当常任委員
野田　大空（村田機械労組）
大河内　隆夫（クロダイト工業労組）
妻鳥　光弘（三洲電線労組）

ボランティア活動　開催報告

8/31（土）にボランティア活動を開催いたしました。今回は、JAM・P愛知が掲げている**「変化の年」**の方針に沿って、初の試みで**豊橋中央高等学校とのコラボ企画**を開催し、常任委員、豊橋中央高等学校の生徒会の方々だけでなく、JAM東海の一般参加者、小坂井高等学校の生徒会の方々にも参加して頂きました。

内容は、午前に表浜海岸で清掃活動（リアカーボランティア）を、午後に高校生との交流会で様々なレクリエーションを行いました。

豊橋中央高等学校が行なっているリアカーボランティアは、ゴミゼロ（530）運動発祥の地・豊橋の高校生として**「自分たちにできるボランティア」**としてスタートしました。**「豊橋を、三河を守りたい！！」**という思いから**15年間継続**しており、ユネスコスクールとして、**SDGs 17GOAL（持続可能な開発）の17項目のうち5項目を達成**しております。JAM・P愛知では、豊橋中央高等学校の取り組みに共感し、また豊橋中央高等学校では、**社会人の人達と一緒に活動したい**という思いがあり、コラボ企画を実現する事ができました。

ボランティア活動当日、表浜海岸には**たくさんのごみが散乱**しており、拾ったごみを入れる**ごみ袋がかなりの数になった**ことを目の当たりにしました。高校生と海岸清掃をしているうちに、私達自身も**「きれいにしよう！！」**という気持ちになり、**清掃活動の素晴らしさ**を実感しました。

今回のボランティア活動を通して、高校生たちが**しっかりとした考えをもって行動**していることがわかり、また、表浜海岸の現状を見て**ごみ問題の深刻さ**がわかり、**「ごみを減らそう！！」**という気持ちが芽生え、ごみ問題に**向き合い、考えるきっかけ**になりました。

今回のコラボ企画により、**今後のボランティア活動の幅を広げることができました。**JAM・P愛知では、引き続きボランティア活動に取り組んでいきたいと思います。

表浜海岸清掃の様子

交流会の様子

集合写真

報告者：JAM・P愛知 スプリングセミナー担当常任委員

伊藤 智弥（名古屋電機工業労組）・高島 悠里（旭精機工業労組）

定期総会　開催案内

平素はJAM愛知青年協議会の諸活動に対しまして、ご理解・ご協力を賜わり誠にありがとうございます。

今年のテーマは「変革」。といった次第で、例年とは大きく違うものを企画しています。

例年の基調講演に代わり、新東工業株式会社様「技能安全研修センター」にて体験型安全講習会並びに工場見学を実施いたします。定期総会につきましても、格調高き会場にて一年の締めくくりとともに、新しき役員の門出に相応しい、華やかなパーティーにしたく準備を進めております。

なお、他社様見学の都合上、平日での開催となってしまいましたが、2020年度への活動継続に向け、下記の日程にて第21回定期総会を開催いたしますので、ご多忙中のこととは存じますが、是非ご参加いただきますようお願いいたします。

日時：2019年10月25日（金）
　　13：00～17：00頃（工場見学・総会終了）
　　（受付開始　12：30～懇親会終了　20：45頃）
会場：新東工業株式会社・華乃井テラス

過去の定期総会の様子（2018年10月）

●JAM・P愛知の活動●
様々な活動を行うことで
段取りの重要さを体感し、スキルアップをしていきます。
我々の行事に　是非ご参加頂くようお願いいたします。
皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

海と命のつながり

豊橋中央高校リアカーボランティア2019

“自分たちでやってみる”リアカーボランティアは

いよいよ今年で16年目

私たちはこのリアカーボランティアの活動で、海洋ゴミによる環境汚染や、海の生き物たちへの被害を知っていきたいと思っています。街をきれいにするのはもちろんですが、このボランティア活動を通していろんな人に**街をきれいにする大切さ**が伝わってほしいという気持ちでやっています。自分たちの足で歩いていくと、車や電車では気づかない**“街の匂い”**や**“風景”“音”**に触れることができます。例えば、それは懐かしい家屋や看板、狭い路地、新しい建物の工事などです。また出会う方々に励ましの声を直接掛けて頂きました。自分たちの街をきれいにしたいという気持ちがよりいっそう強くなりました。そして私たちは、**“自分たちが歩いて清掃した街”**を**“自分たちの守るべき大切な街”**と感じるようになりました。この活動は私たちだけでは成り立ちません。この活動に賛同して協力してくれる方、地域の方々がいるからこそ**“リアカーボランティア”**を続けることができています。その感謝と街をきれいにしたいという想いを大切にしています。

いつまでもアカウミガメが訪れられるために出来ること

海の生き物について知るために、豊橋市の環境保全課の保全活動を続ける鈴木達昌さんにお話を伺いました。「豊橋の表浜にもアカウミガメが産卵のために来ている。東海地区では愛知県の伊良湖岬の先端から静岡県の御前崎までの区間で産卵をする。」

アカウミガメは、野犬などの外敵から身を守るため、夜中に産卵をします。卵を無事に産むことができても、台風で波に呑まれたり、砂浜に乗り入れた自動車の重みによって死んでしまうこともあります。

産卵の時の砂の**“温度”**によってオス・メスが決まります。そのため、**地球温暖化**はアカウミガメに大きく影響します。深夜の花火・大音量の音楽や光が、アカウミガメの上陸・産卵の妨げとなっています。また、孵化した子ガメは巣穴から出るとすぐに自分の力だけで海を目指しますが、砂浜に捨てられた釣り糸やゴミによって**命を落としてしまいます**。アカウミガメは生まれてすぐに長い海の旅に出ます。**人間が出すゴミ**によって苦しめられているのです。日常の生活でも私たちに出来ることがあるはずです。私たちが街や海岸を清掃することは、人間だけでなく**この地球上で生きているすべての生き物たちを助ける**ことにも繋がっていくのです。

一緒にやろう！　繋がる広がるリアカーの仲間たち

今年度もたくさんの方々がリアカーボランティアに協力してくれます。**ＪＡＭ東海（金属機械産業を中心とした産業別労働組合）**の方々が中央高校の活動に参加したいと言ってくださいました。ＪＡＭ東海とは愛知県内で社会貢献に賛同する企業から各１名で構成された組織です。平成３０年度の３月より月１回のペースで生徒会と合同会議を行ってきました。ＪＡＭ東海さんは**７月２７日（土）**に参加して頂けます。

２７日（土）には昼食にカレーを食べながら交流会を行います。社会人から高校生に仕事についてのお話をしていただきます。そしてＪＡＭ東海さんはこの日の活動に参加し下さるだけでなく、**NEW リアカーを１台贈呈**（ＪＡＭ東海→豊橋中央高校）してくれたり、２７日（土）の観光バス１台チャーター（乗車員：ＪＡＭ/生徒）、交流会・昼食に掛かる費用の全てを負担して下さったりします。また、**小坂井高校生徒会**の方々もこの活動に賛同して下さいました。

小坂井高校生徒会の皆さんとは、相互にアイデアを出し合って、**より良い生徒会活動を目指す**ことを目標に交流会を重ねてきました。小坂井高校生徒会の皆さんは、２７日（土）に本校の一般生徒と同じ動きをします。この活動は、私たちだけでは成り立ちません。皆さんの協力があるからこそできる活動です。今年度のリアカーボランティアは賛同して下さった方々含め全員で頑張っていきたいと思います。

“自分たちでやってみる”は野菜づくりも同じ

２７日の（土）の交流会ではみんなでカレーを作って食べます。使う食材は、私たちが一から作った野菜。農園での野菜作りは今年の春からスタート。**野菜作りの大変さ**や、わたしたちが**農園作業をする大切さ**を知ることができました。クワを使うのはとても体力がいる作業だと気づきました。自分たちで作るカレーは美味しいことはもちろん、その野菜も自分たちで作ったものとなれば楽しみはさらに広がります。お金で解決するのではなく、自分たちで出来ることからチャレンジしていく。ゴミ拾い同様、出来ることから行動に移していくというイベントです。自分たちで作った野菜ということでパッケージ類の**ゴミの削減**にも繋がっていきます。

2004 年から始まったリアカーボランティアのこれまで

このリアカーボランティアは**豊橋市が５３０運動発祥の地**ということで、自分たち高校生でもできることを行動に移そうと２００４年から始まり、そこから１５年間毎年夏に行なってきました。当初は三河湾沿いの道路を中心に豊橋を出発し、蒲郡、吉良、一色、衣浦、河和、師崎、伊良湖、田原、そして豊橋へと、**１８０㎞**を歩き、清掃活動を行なっていました。この取組みは毎年テーマを掲げていて、当初は東海道を東に進み沼津市をゴールにし、地域の方と協力して**東三河一帯の清掃**などを行なってきました。昨年は、渥美半島の先端の表浜を清掃場所としましたが、浜辺に打ち上げられた**「海洋ゴミ」**の量の多さにわたしたちは愕然としました。**プラスチック製品やたばこの吸い殻**だけでなく、海の向こうからのゴミもたくさん流れ着いていました。私たちはすべてのゴミを拾い、この西の浜のゴミを無くすことを目標に取り組んでいきます。

この夏のリアカーボランティア

これまでのリアカーボランティアは自分たちの足で歩いてゴミを拾う活動としていましたが、今年は徹底的に海岸のゴミを無くします。海岸に打ち上げられたゴミの量は驚くほど多く、私たちは継続して海岸のゴミを拾うことに決めました。現在、**海に漂うゴミの問題**は毎日のようにニュースで取り上げられています。海岸にゴミが落ちていると魚・鳥などの**海で生活するあらゆる生き物**たちに影響を及ぼします。ゴミを拾うことによって、環境を良くするほか、生き物たちの命を救うことにも繋がります。スターバックスやデニーズでもストローなどの**プラスチックの提供を止める**など、多くの企業がゴミ対策に動き出し始めました。今回、私たちのリアカーボランティアは、そんな活動と同じように海のことや生き物たちのことや環境のことに対して直接的に出来る行動の一つなのです。そして強力な助っ人がいます。今年は**田原市役所の渡辺さん**によりこの活動で拾ったゴミを資源センターで受け付けて下さることになりました。そして２７日（土）は小坂井高校さんとJAM 東海さんとの共同で行います。今年のリアカーボランティアは、**“伊良湖岬西の浜完全清掃”**として頑張る覚悟でいます。

活動日程

活動日	行程とおおよその時間	距　離
7/25(木)	学校出発 8:00 ― 伊良湖岬西の浜海岸着 9:30 ― **海洋ゴミ清掃①**(伊良湖シーパーク ～ 休暇村伊良湖) 10:00 ～ 13:00 ― 伊良湖岬西の浜海岸出発 13:30(昼食) ― 学校到着 15:00	西の浜海岸 距離 2km
7/26(金)	学校出発 8:00 ― 伊良湖岬西の浜海岸着 9:30 ― **海洋ゴミ清掃②**(伊良湖シーパーク ～ 休暇村伊良湖) 10:00 ～ 13:00 ― 伊良湖岬西の浜海岸出発 13:30(昼食) ― 学校到着 15:00	
7/27(土)	学校出発 8:00 ― 休暇村伊良湖駐車場 9:30 ― **海洋ゴミ清掃③**(伊良湖シーパーク ～ 休暇村伊良湖) 10:00 ～ 13:00 ― 休暇村伊良湖 13:30(昼食・企業との交流会) ― 休暇村伊良湖駐車場出発 15:00 ― 学校到着 16:30	

注意事項だよ♪

今年のリアカーボランティアは昨年の反省を踏まえて、伊良湖岬・西の浜を中心とした海岸清掃を行うことになったよ！みんなの体調の安全確保のために班行動を行ないます！各班で「もやせるゴミ班」、「粗大ゴミ班」、「ガラス＆缶班」などに分けてゴミを拾ってね♪みんなでチカラを合わせて頑張ろう！

美化活動だけではないリアカーボランティアの目的

ユネスコスクールとして
SDGs 17GOAL（持続可能な開発）の項目を達成する。

□ :関係項目

ゴミ拾いを通し
責任感やコミュニティを築いていく。